

## 令和元年度 秋のまちづくり懇談会 内容

NO.	地区	発言要旨	担当課	令和元年度の対応、追加説明
中央地区では、3グループに分かれて懇談しています。				
1	中央①	<b>【意見】</b> ■転入者にとって、役場窓口の対応がまちの第一印象になる。若い職員や異動したばかりの職員は緊張しているのか。あったかすな対応をお願いしたい。	町民課	住民記録や身分関係の証明に関する業務は、お客さま本人の大切な個人情報扱うものでありますので、緊張感をもって業務を行っています。また、接遇マナー研修などに積極的に参加し、日頃からより良い窓口対応に心がけています。今後も正確で迅速丁寧あったかすな窓口対応ができるように努めてまいります。
2	中央①	<b>【提案】</b> ■地域活動の人材確保のため、例えば地域を離れた人も公民館の役員として残るなどの体制がつかれないか。	教育課	地域の方々がそういった人材を育てていくことも必要かと考えます。今年度は道のモデル事業を活用し研修会を行いました。地域の今後をどのように考えていくか、公民館役員の方々とも相談し、新たな考え方を交えながら体制づくりを検討してまいります。
3	中央①	<b>【質問】</b> ■公園を紹介するマップはあるのか。子育て世代は公園を利用する。	総務企画課 建設水道課	町ホームページにおいて、町内出身イラストレーターの方の素敵な挿絵とともに公園を紹介しておりますので、ぜひご活用ください。
4	中央①	<b>【提案】</b> ■星空がきれいに見えるのが鷹栖の奥地の魅力。街灯を消すことはできないだろうか。	建設水道課	道路の交差点や交通安全面での支障がなく、地域の皆さんの同意に伴う申請などがあれば消すことも可能なため、ご相談ください。
5	中央①	<b>【提案】</b> ■空き家を改修して若い人がルームシェアできるような物件にできないか。町内勤務・在住を条件に家賃を安く。	総務企画課	空き家を若い世代の方に活用していただくことは、地域の活性化などにつながるものと考えます。所有者や地域の意向を踏まえながら、利用者のニーズに沿うような形で、有効な活用につながるように、情報収集や研究を進めてまいります。

## 令和元年度 秋のまちづくり懇談会 内容

NO.	地区	発言要旨	担当課	令和元年度の対応、追加説明
6	中央①	<p><b>【意見】</b>  <b>■</b> 図書室に夜行きたいと思うが閉まっている。仕事帰りにふらっと立ち寄ってコーヒーでも飲む施設があればいい。旭川から町内へ勤めている人は、まっすぐ家へ帰ってしまうが、仕事帰りに寄れる場所があれば、話が盛り上がり、一人で落ち着いて過ごしたりもできる。</p>	教育課 産業振興課	<p>現状では、夜間に町民の方が集い、コーヒーなどを飲みながら、ゆっくりとした時間を過ごせるようなカフェ等はありませんが、昼夜に関わらず、ご提案いただいたような場所（施設、店舗）があれば、地域の賑わいの創出や活性化にもつながると考えます。町内に出店を希望される方には、町の補助金制度も設けておりますので、広くPRしながら、様々なジャンルの起業（出店）を後押ししていきたいと考えております。</p> <p>また、図書室を夜間に臨時開館し検証しましたが、夜間の図書室利用者は多くいなかった結果もあり、日中の開館日の拡充を検討しています。</p>
7	中央②	<p><b>【意見】</b>  <b>■</b> パレットヒルズについて                      基本は、「自然を破壊しないで進めていく」「自然を生かして整備する」というのが原点の発想。散策路を整備して健康をテーマに活用するという案が、かつてからあった。JR払下げの枕木をうまく利用するなどがよい。</p>	総務企画課 建設水道課	<p>今年度「パレットヒルズを考える会」を4回にわたり実施し、公募にてご参加いただいたメンバーと今後の整備方針等を議論いたしました。過去の経緯や自然を生かした整備という基本を再確認し、園路や散策路の整備に関して検討しております。整備及び活用の内容や方法についても、多方面からのアイデアや助言、ご協力などをいただきながら、具体化を進めてまいります。</p>
8	中央②	<p><b>【提案】</b>  <b>■</b> 地域の資源マップ                      昨年（ワークショップで）行ったものを、簡単な冊子でいいので、各戸に配ってみてはどうか。お年寄りも、今の話は盛り上がりませんが、昔こんなのがあったね、という話は盛り上がる。かつて岡主事が、地域の各戸の歴史を調べて冊子にしたことがあったはず。</p>	総務企画課	<p>ワークショップの成果物をまとめたものは、その後の各地区の文化祭などの際にも掲示のご協力をいただきました。令和2年4月に各戸に配布予定の「総合振興計画冊子」において、活用させていただくことを予定しています。</p>

## 令和元年度 秋のまちづくり懇談会 内容

NO.	地区	発言要旨	担当課	令和元年度の対応、追加説明
9	中央②	<p>【意見】</p> <p>■地域を引っ張っていくリーダーが必要「この人」という人、それはまちのトップが指名して、リーダーを養成する。40代くらいの方が良いが、今の地域にはひと握りしかその世代がないし難しい。昔は婦人会や青年など集まることがあり、エネルギーがあったが今は違う。昔と同じことにはならないなかで、どうするべきか課題である。</p>	総務企画課 教育課	NO.2と同様
10	中央②	<p>【要望】</p> <p>■農業後継者などのコミュニティ 若い人同士が意見を交わす機会がなくなっている。 昔はよく会館で飲み会なども開いていた。 若い人たちで話し合える機会を設けてほしい。</p>	産業振興課	10～15年後の地域農業を考える会を中央地区・北斗地区・北成地区（R2.1現在）で開催し、60歳未満の農業者に集まっていたいただき、農業を中心ではありますが将来の各地区の話し合いを行っております。
11	中央③	<p>【意見】</p> <p>■除雪について 間口の除雪は年配には大変。何か考えてほしい。</p>	建設水道課	除雪の第一目的は交通の確保であることをご理解ください。ご自身での対応が難しくなってきた場合には、間口の除雪サービスも有りますので、健康福祉課へご相談願います。
12	中央③	<p>【意見】</p> <p>■移住施策について 人を外から集める努力よりも、人を流出させない努力が大切。地域づくりの根本だと思う。</p>	総務企画課	ご意見のとおりでございます。何よりもまずは住んでいる人が地域を愛する、住みよいまちを皆で創り上げ、そのうえで、住む人の姿に共感したり、この地に魅力を感じて何かに挑戦したいという人が集まることが大切だと考えています。